

住民生活の

「平穏で幸せな日常」を願って

播磨町長

清水ひろ子



新年明けましておめでとうございます。今年も寅年です。十二支と十干を組み合わせると壬寅の年となります。60年で一巡するということですが、播磨町は今年町制施行60周年、「還暦」を迎えます。また、大中遺跡も発見されてから、60年。ともに同じ時の流れの中で、歴史を重ねてまいりました。半世紀以上を経て、順調に発展し変貌を遂げてきた播磨町ですが、まちの各所でしっかりと守り継がれているもの、新たな二ノズを踏まえて誕生したものが、現在の人々の生活に確実に融合し根付いていっていることを喜ばしく思っています。

かたや2年にわたるコロナ禍で分断、停滞を余儀なくされたものがあることも否めません。未だ収束する見込みも立っていないコロナ禍ですが、感染予防対策の励行から生まれた新たな生活スタイルとともに、コロナ禍に翻弄されないまちづくりを進めてまいりたいと思っています。

播磨町が持続できる自治体として、これからも永い歴史を重ねていけるよう、SDGsを理念とした「第5次播磨町総合計画」を土台とし、「民」と「公」協働で進めるまちづくりを、住民の皆さまのご理解もいただきながら推進してまいりたいと思います。

今年も、皆さまの「安らかで平穏な日常」が続く、お幸せな一年でありますように。

変化に対応する議会として

未来へ前進

播磨町議会議長

河野 照代



令和四年の新春を迎え皆さまにおかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。旧年中は播磨町議会に温かいご支援やご協力を賜り、議会を代表し心から御礼申し上げます。

新しい年を迎え、大河ドラマの主人公も、日本経済の父といわれる渋沢栄一から「鎌倉殿の13人」北条義時に交代しました。義時は「心もたけく、魂まされる者」と評され、常に状況を見澄まし、無理強いを避け、ここぞという時に全力を投入し、仲間と共に初めて民主的な幕府を確立しました。国政が、コロナ後を見据え、疲弊した日本の舵取りをどのようにするのか、義時のごとく新たな共生社会を目指していただきたいと思います。

我が町においては、現在も進められている高齢化対策や子育て支援に加え、発生が確実視されている南海トラフ巨大地震をはじめとする大規模災害への、さらなる防災・減災対策が急がれます。議会は、皆さまから寄せられる多様なご意見を集約し、政策形成につなげ、町政に反映させることができるよう努めてまいります。意思決定機関として、執行機関の監視・評価を怠ることなく、寅年の本年を皆さまと共に雄々しく進んでまいれる所存です。

皆さまのより一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。年頭のあいさつとさせていただきます。

あけまして
おめでとう
ございます

議長 河野照代
副議長 宮宅 良
議員(議席順)

野北知見

松岡光子

大北良子

香田永明

大瀧金三

木村晴恵

松下嘉城

神吉史久

岡田千賀子

藤原秀策

奥田俊則

藤田 博

公職選挙法により、政治家は、年賀状などのあいさつ状を出すことが禁じられています。ご理解とご協力をお願いします。

